

(回答数 56 回答率 100%)

1. 医療チームを構成する多職種の役割と仕事の内容について理解する事ができた。【他職種の理解】

[詳細](#)

とてもそう思う	40
そう思う	16
どちらともいえない	0
そう思わない	0
全くそう思わない	0



2. 自分の学部・学科・専攻の専門性を活かしてグループワークに貢献できた。【職種としての役割を全うする】

[詳細](#)

とてもそう思う	15
そう思う	34
どちらともいえない	6
そう思わない	1
全くそう思わない	0



3. グループメンバーと協働して作業でき、意見の対立に適切に対応できた。【関係性に働きかける】

[詳細](#)

とてもそう思う	20
そう思う	30
どちらともいえない	5
そう思わない	1
全くそう思わない	0



4. 自分が目指す医療職種の仕事の内容、役割について新しい気づきがあった。【自職種を省みる】

[詳細](#)

とてもそう思う	37
そう思う	19
どちらともいえない	0
そう思わない	0
全くそう思わない	0



5. 上記1～4以外で、今回あなたができたと思うことは何ですか。

- 1 歯科の観点からの問題解決
- 2 痛みに対する薬学的介入の提案
- 3 科が違くと知識も違っていて、わからないことも多い。
- 4 書記をしました。
- 5 考えた問題について、他の職種の方に改善のための依頼をすることができた
- 6 他の職種と自分の職種を繋げて考える
- 7 画像の見方について説明できた
- 8 自分が気づけなかった意見を指摘してもらった上で、それを取り入れて新しい意見を出すことができた。
- 9 いろんな意見を踏まえて、薬学的観点から問題を考えることができた。
- 10 看護の観点からチーム医療として積極的に参加できた
- 11 専門職としての提案を行うことができた。
- 12 知っていた内容でも、議論することによってさらに理解を深めることができた。
- 13 司会をきちんと行うことができた
- 14 周りの意見を聞いて、他学部ならではの専門的な知識を得ることができた。
- 15 放射線治療に対する説明
- 16 画像所見の説明、放射線治療の提案
- 17 特になし。
- 18 他の職種の人の意見を理解した
- 19 治療についての専門的な考え
- 20 他の専門職からの視点を知ることができた
- 21 具体的な食事形態の案など
- 22 司会をやらせてもらったのですが、初めての割にまとまった議論ができたと思います。
- 23 薬理作用の観点から意見を出した。検査値についてきちんと整理できた。
- 24 口腔ケアの大切さを伝えられたと思う
- 25 患者さんと看護の視点から必要なアプローチや日常生活、社会資源について考えれたこと。
- 26 特になし。
- 27 記録として簡潔にまとめられた。意見や疑問を発言できた。
- 28 病態的な面を意見することができた。
- 29 他学部の人の意見をよく聞き、自分では思いつかなかったような観点到気づくことができたこと。
- 30 栄養関連からの視点で治療法を提案できた
- 31 他職種の考えを知る
- 32 処方提案についての問題提示。
- 33 患者の抗がん剤治療に間する不安に対しての必要なアセスメント、副作用の説明と対策
- 34 聞く
- 35 書記をしてみて、他の方が発表されたことをうまく纏めれた。
- 36 自分の専門からの意見を用いて、他職種の意見に付け足すことができた。
- 37 言い残したことは無く PBL を終えることができた。
- 38 書記役としてグループの意見を簡潔に見やすくまとめることができた。
- 39 意見の調整役をできたかと思う
- 40 チーム医療の重要性を感じた

- 41 他学科の人の意見を聞くことで、新しい視点を持つことができた。
- 42 自分の考えを発言することができました。
- 43 患者さんの事を考えながら看護を考える事ができた。
- 44 他学部の見解を踏まえた発言ができた
- 45 異常である検査値から考えられることを他職種に理解してもらう。
- 46 司会として、他学科の方達から様々な意見を聞き出すことができました。
- 47 看護が大切とする視点を具体的に発言することができた
- 48 放射線治療について概ね説明できた。他学部の方々との貴重な意見交換ができた。
- 49 自主的に意見することができた。
- 50 ガン患者の歯科治療には薬の併用や治療内容に注意を向ける必要があること
- 51 積極的に発言すること
- 52 歯科医療、歯科診療について説明できた。
- 53 予防のためなど目的を踏まえてすべきことを説明することができた。
- 54 他学科からの栄養に関する見解について学ぶことができた
- 55 歯科衛生士だけでなく社会福祉士の勉強もしているということを他の学科の方たちに知ってもらえた。
社会福祉士の視点からの意見も提案することができた。
- 56 まんべんなく発言を聞くように努めれたと思う。

6. 上記1～4以外で、今回あなたができなかったと思うことは何ですか

- 1 全身疾患への十分な配慮
- 2 高カルシウム血症に対する薬の提案に気づかなかった
- 3 他科の知識への深い理解。
- 4 自分の専門分野でできることを他職種との関連性に絡めて自分の意見を言えなかったこと。
- 5 他職種の方の専門用語でわからない言葉がいくつか出て、話に追いつけないことがあった。
- 6 疑問に思ったことを質問する
- 7 放射線治療と副作用がどの程度関わりがあるか説明できなかった
- 8 自分の専門分野ではないところの問題に関して、事前に検討をすることをしなかった。
- 9 薬学の専門用語を多用してしまい、わかりやすい説明ができなかった。
- 10 他職種に質問できなかった
- 11 他の学部の方の専門用語等を勉強不足だったこと。
- 12 時間的にすべての問題点については触れることができなかった。
- 13 司会に集中したため自分の意見をあまり言えなかった
- 14 積極的に発言することができなかった。
- 15 積極的な質問
- 16 患者さんの治療に関すること以外のケアなど
- 17 他の専門性に対しての知識に対応できなかった。
- 18 意見を積極的にいう
- 19 検査結果から読み取れる健康状態などの学習が足りなかったこと
- 20 問題点をみつけること
- 21 患者さんの気持ちに対する栄養ケアの面
- 22 医学的な観点から、患者さんの問題点を挙げることはできたのですが、それをどう改善していくか考えるのが難しかったです。

- 23 薬物療法についてもっと意見を言えたらよかった。
- 24 低栄養の話題のとき、詳しく知らずあまり発言できなかった。
- 25 経済的な面で、他職種の方と話し合いが出来なかったこと。
- 26 具体的な治療方針の提案や自分の専門分野から見た説明などがはっきり出来なかった。
- 27 より高度な専門性の教授
- 28 具体的な検査値や薬剤量を説明することができなかった。
- 29 自分の知識不足や提案力不足のために、あまり専門的な意見を述べることができなかった。また、他職種の専門的な意見と関連づけた意見を述べることができなかった。
- 30 他の職種の内容を無知すぎて自分の治療法との関係性を見いだせなかった
- 31 特になし
- 32 分野外の知識（主に画像検査）が説明してもらわないとわからなかった。
- 33 社会的な福祉サポートの提案
- 34 歯科領域での専門的な知識が不足
- 35 自職種以外の内容についての理解が足りず、わからない単語がたまにあった。
- 36 精神面のケアなど患者さんと直接関わる問題について意見することがあまりできなかった。
- 37 歯学部の方の話が理解しきれなかった。
- 38 もう少し自分の専門からみた問題点を提示できたらよかった。
- 39 他の人の意見を引き出すような質問
- 40 他学部の方の話の内容が分からないことがあった
- 41 自分の持っている知識を実践で活かしていくには、まだ勉強が足りないと感じた。
- 42 患者さんの家族や住環境、経済的状況まで考えること。
- 43 薬など治療方針についての話が多かったので、入るのは難しかった。
- 44 確証を持った意見を言えなかった
- 45 患者さんに直接関わるのが少ないので、患者さんのケアに関して助言などできなかった。
- 46 今回、司会をやりましたが所々うまく進行できないところがありました。
- 47 薬剤や治療、疾患についてより深い知識があれば、より患者にあった援助方法が見つかったのではと思う。
- 48 もっと積極的に発言できたらよかった。
- 49 せっかく多職種の方と関わる機会があったのに、質問などをすることができなかった。
- 50 質問に対する的確な応答
- 51 薬剤と歯科との関係に対しての理解が不足していた。
- 52 臨床検査の話が難しく、ついていけなかった。
- 53 問題解決の提案に対しての自分の立場から出来ることを提案できなかった
- 54 全体的に勉強不足だった
- 55 疑問点に対する質問を積極的にできなかった。
- 56 系統立てて問題を上げて解決することができなかったので次回があれば生かしたいです。

7.できなかったことを改善するために今後どのような学習が必要と思いますか

- 1 視野、知識の拡大
- 2 検査値とそれに対する対応
- 3 自分の科だけでなく、他の科にも興味をもつこと。
- 4 全身に関する知識の習得

- 5 専門分野のみに限局しない幅広い学習。また、今回のような合同でのカンファレンスでの学びは、貴重であると感じる。
- 6 他職種について理解を深める
- 7 治療に関する詳しい知識を得る
- 8 自分の専門分野はもちろんだが、そうでない部分にも視野を向けることができるように、広い視野を養うことが必要だと感じた。
- 9 患者さんに説明するような、わかりやすい言葉に置き換えるように意識する。
- 10 多職種の考察について知らないことがたくさんあったので今後に活かしたい
- 11 自分の専門分野だけでなく、全身疾患についてなど全身に関することを勉強し、多職種との関わりを行う。
- 12 積極的に細かいことでも意見する。
- 13 考えながら喋る練習
- 14 さまざまな視点からの知識をしっかりと理解し、疑問点や知りたいことなどをもっと発言するようにする。
- 15 自分の領域に対してもっと知識を深める
- 16 他職種に対する理解、患者さんに寄り添ったケアプラン
- 17 自分の専門の勉強はもちろんであるが、他学科のことについても自分の専門外だからと勉強しないのではなく、視野を広げる意味でも学びを深めていきたい。
- 18 事前学習をもっとしっかりする
- 19 より自身の専門的な分野の学習を行い、他には行政サービスなどについて知っていこうと思った
- 20 様々な視点からものごとをみれるように視野を広げる
- 21 他学科との関連した内容についての学習
- 22 常に、患者さん目線の視点を意識することが大切だと思います。
- 23 患者さんの状態を理解すること。
- 24 栄養についてや、薬やその副作用、全身疾患など、自分の専門分野だけでなく幅広い知識を持つことが必要だと思う。
- 25 それぞれの専門の意見を生かして、患者さんにできるケアを工夫して行えるような視点をもつ学習をしていく必要があると考える。
- 26 このような事例に対してどのような問題があり、それをどのように解決するか、といった具体的な演習が必要だと感じた。
- 27 専門性の向上
- 28 実践的な勉強を行う。
- 29 さらに自分の専門分野についての知識を深めるとともに、他職種についての観点も身につける必要があると感じた。
- 30 栄養であれば薬剤との食べ合わせなど知る必要があると感じた
- 31 さまざまことを学習
- 32 疾患、病態と治療の流れ、画像の見方。
- 33 社会福祉サービスなどの制度、支援についての学習
- 34 具体的な治療法の学習
- 35 自職種以外の専門的な分野について勉強していきたいと思う。
- 36 患者さんの心理状態などに関する学習が必要だと感じた。
- 37 臨床の現場に入るようになってからの話にはなってしまうが、自分から積極的に他のコメディカルの

人たちにコミュニケーションを取ることが必要だと思った。

38 病気について具体的に理解する必要があると思った。

39 薬剤や治療への学習

40 幅広い知識の習得

41 様々な視点を持ち、事例に対しての見解も深めていく。

42 多角的な視野を養うための学習。

43 知識を増やす事は大事である。しかし、他職種に頼る事も大事。疾患や看護の知識を充実しつつ、頼るところは頼れる環境作りも大事。

44 他学部 of 知識

45 他職種と連携をはかり、お互いの役割についても理解する。

46 薬剤と緩和ケアに関する知識など自分の専門とする分野以外にも注意を払って見ていく必要があると思いました。

47 疾患、薬剤の専門知識をつけ、それらを看護につなげる学習が必要

48 人に質問する能力やすぐに答える力を日常生活の中で意識して身につけたい。

49 自分の分野以外のことも積極的に勉強し、理解を深める。

50 歯科分野以外の関連する分野にも目を向けて学習する。

51 薬理学の復習を行うこと

52 臨床検査医学や薬理学を復習する。

53 病態や薬、治療法に対するケアの仕方を結びつけて学習することが必要である。

54 薬の副作用や口腔関係等、食事面に関する学習が更に必要だとも思った

55 質問をするのにもある程度の知識が必要になるので、事前学習をもっと丁寧に行う。

56 普段から頭の中でシナリオや次の行動などを意識しながら学習していく必要があると思う。

8.良かった点

1 参加者全員が各々の意見をしっかりと伝え、討論できた点

2 他学部の意見を聞けて様々な観点から考えることができた

3 他の科の方と話す機会が少ないので、良い経験になりました。

4 違う職種の視点の違いを体感できた。知識不足を痛感したので、これからの勉強に生かしたい。

5 様々な視点からの意見を聞くことができた。自分では考えつかなかったことや、新しい学びもあった。

6 他学科と交流できたこと

7 多職種が協力していることを改めて実感できた

8 いろんな専門的な視点から、意見を聞くことができる機会はほとんどないので、このような場があったよかった。

9 他学部の考え方が聞けて勉強になった。

10 不足している知識を補うことができた

11 全員が意見を出し合って、事例を検討できた点。

12 スムーズに進行してくださり、有意義な時間だった。自分では気づけないことについて知ることができた。

13 有意義に議論できた点

14 班全体では活発なディスカッションができた

15 様々な視点から考える事ができた

16 自分が気付かなかった視点に気づかせてくれた

- 17 自分の知らない知識を知ることができて、勉強になった。
- 18 人の意見を知ることができた。
- 19 同じ患者でも様々な問題を抱えていて、それを他職種の専門的な視点からアプローチすることでより良い医療を提供できると再認識できた点
- 20 挙げられた問題点について、薬学的観点からどのような解決策があるか考えることができた
- 21 同じ症例でも色んな学科からみた観点を知れたこと
- 22 他学部と議論を交わすことで、医学科内では出てこないような視点からの意見も沢山聞けて、とても勉強になった点。
- 23 他の学科の意見を聞くことで新たな視点を持つことができた。
- 24 自分の専門分野については、歯学科より専門的なことは言えなかったが、患者のケアなどの観点については詳しく発言できた。
- 25 それぞれの専門の立場から平等に発言し、患者さんの QOL 向上につなげられるように考えていけた点。
- 26 各自専門の視点から問題点ひとつひとつに対して解決策を提案し、話し合いがスムーズに進んでいたこと。
- 27 チーム医療、他職種との意見交換について学習できた。
- 28 色々な方面から考えることができた。
- 29 普段、他学部の人と話す機会がほとんどないが、このように様々な学部の人と一つの症例について考える機会があり、自分では思いつかないような観点到気づくことができたので良かった。また、自分の知識不足を痛感するとともに、将来のチーム医療に対する意識が向上したため、今後の勉強に対する意識も向上したので良かった。
- 30 自分から話し出すことができた
- 31 さまざまなことを知れた
- 32 それぞれの分野が 1 名ずついて、活発なディスカッションができたこと。
- 33 他職種の業務内容、専門分野について学ぶことができました。
- 34 多くの視点からの意見を聞くことができて良かった。
- 35 知らなかった分野について知るきっかけになった。
- 36 様々な観点から一つの症例に対する意見を聞くことができた。
- 37 患者を治療するにあたって多面的にアプローチするためには他のコメディカルの人たちとコミュニケーションを取ることが重要であることが分かった。
- 38 様々な目線からアプローチできて、1 人では考えもつかなかったようなことも多く出てきて、大変勉強になった。
- 39 それぞれの学部が各々の立場から意見を出し合えた点
- 40 他学部の方の意見を聞くことで視野が広がった
- 41 他学部の方の意見を聞くことで、知識を深めたり、今まで知らなかったことに対しての新たな発見もあったこと。
- 42 少人数で話しやすかったです。
- 43 他職種の考え方に触れる事ができた。
- 44 自分では思いつかなかった意見を聞いた
- 45 大学で他学部の方と交流する機会は少ないので、とても勉強になることが多かったのです。
- 46 他学科と方達とディスカッションすることで、今までの医学科のチュートリアルでは出てこなかったような問題点に気づけた。
- 47 PBL を通して、放射線治療や、薬物、口腔分野などの専門的意見を聞くことができた。看護師は患者

が元の生活に戻った後も、在宅での支援が必要であれば地域と連携し生活を援助していく必要がある。医学、薬学、口腔など、他の専門職種からの知識も少しずつ蓄えていき、本当に今の治療が患者にとって最適であるのか、生活面プラス考えていくことができるようにどんどん勉強していきたい。

- 48 学部で勉強をした後に、他学部の人とディスカッションするという貴重な経験を学部 4 年生で経験できたのは非常に有意義であった。
- 49 他学科の方とお話しできたこと、知識・視野が広がったこと。少人数で比較的意見しやすかったかもしれない。
- 50 司会の方のおかげで会議がスムーズでした。
- 51 転院の必要性を発言することができたこと
- 52 多くの職種の方の意見が聞けた。
- 53 問題点と解決策を考えて臨んだので提案できた点と、他の視点からの問題点をきいて新たな発見や介入を見つけることができた点。
- 54 特になし
- 55 実際が多職種連携がどういうものなのか少し実感できた。
- 56 医師としての立場というものを再確認させられた。自分の知らない分野の多さを再確認したし、これからの学習の仕方を考えるいい機会になりました。

9.改善してほしい点や具体的な提案

- 1 最後に様々な分野の先生方からの意見を聞ける場があれば、もっと有意義になると思う。
- 2 実習をした人が集まるとより現場に近い具体的な結論になり、興味深い話し合いができるのではないかなとも思う。
- 3 時間が少し長いので、もう少し時間を減らしても良いかなとかんじました。
- 4 議論を進める上で最終的な方向性が見えなかったため、白紙用紙ではなく、フォーマットを用意してくださるとありがたかった。
- 5 一人の方にワードを打っていただいたので、その方が発言できたのか心配だが、みんなでそれぞれ打つのもまた難しいと思う。書記のみを担当する者の配置があれば助かる。
- 6 症例の追加
- 7 とくになし
- 8 とても学習になったため、また取り入れてほしいが、やはり遠隔でディスカッションするのは難しかった。
- 9 各学部につき 2 人ほしい。
- 10 特になし
- 11 特にないです。
- 12 チームズの設定
- 13 特になし
- 14 やはりオンラインよりも対面のほうが緊張感などが緩和されると思う
- 15 事前準備に対する質問が出来るようにしてほしい
- 16 ディスカッションの記録を最後にグループ内では保存できるようにしてほしい。
- 17 ビデオオフにしてほしいです。
- 18 時間が長い
- 19 特に無いです
- 20 より詳細な患者情報があれば良いと思った

- 21 対面で実施した方がより色々な意見が出たと思った
- 22 課題のテーマを選ぶのが難しくて苦劳しました。
- 23 司会進行のシナリオがあると嬉しいです。
- 24 特になし
- 25 PT などの視点からも意見が欲しかったので、学生はいないで、ペーパーペイシェントの欄に意見を書いていただけたら、もっと深い学習ができたと思う。
- 26 論点が色んなところにとんでいた点。
- 27 時間が長い。
- 28 特になし
- 29 事前に会議の進め方や、何人のグループで行うか、Teams の使い方などについて説明しておいて欲しかったです。また、グループの一部の人が記録の word ファイルを見れないなど、システム障害があったので、障害を少なくしてほしいです。議論中はほぼ学生が進める形でしたが、もしかしたら間違えた提案もしているかもしれないので、時々先生からの意見もお聞きしたいと思いました。
- 30 栄養治療が難しい患者だったため、すべての職種が幅広く有効であるようなカルテが良いと考えた。
- 31 音声途切れることがあったのでビデオじゃなく通話のみにしたらスムーズだったと思う
- 32 シナリオの配布や連絡など、もう少し早い時期に行ってほしかったです。
- 33 改善して欲しい点については特にありません。
- 34 良かったです。
- 35 特に無し
- 36 特になし
- 37 スムーズに始めるために司会だけでも予め決めておくのもありかもしれないと思った。
- 38 今回は入院から治療開始までのシナリオを見てその人の問題点や今後どうしていくかを学生目線で話し合ったが、臨床経験のある医療従事者の方の意見も最後に聞けると、もっと視点が広がると思いました。実際に働いている方であれば、どのようにアプローチしていくのかも気になりました。
- 39 代表じゃなく、全員が実際に集まってグループワークできたらいいかな
- 40 意見の共有の仕方が難しかった
- 41 遠隔ではなく、やはり顔を合わせて行う方がやりやすいのではないかと思います。
- 42 特にありません。
- 43 各職種 1 名だったので、自分が看護全ての視点を網羅できたとは思わない。同学科から数名欲しい。
- 44 事前に役割を決めていてもよかった
- 45 teams の機能、便利な使い方を知りたい。
- 46 会議中のメモが見れませんでした。(iPad からログインしてた事が原因かもしれませんが、)
- 47 改善すべき点はない。
- 48 世話をする方々にとっては面倒で実現困難なことだと思うが、全員に経験して欲しい。また機会があれば参加したい。
- 49 録画されていると意見するのに緊張してしまったので、コロナ禍でなければ班のみんなで話し合うことができればよかったと思いました。しかし、人数が増えるともっと緊張してしまうので、この人数くらいがちょうどよいかもしれません。難しいとは思いますが、班の数を増やしてそれぞれで話し合えるとよいかと思いました。
- 50 レントゲンなどの撮影図がもう少しあったらいいと思います。
- 51 患者の気持ちに寄り添う連携
- 52 専門用語を出来るだけ使わなくても正確に話せると良いと思う。

53 事前に通信状況がうまくいくかテストしたら当日スムーズに行くと思う。

54 特になし

55 各専門職について理解しながら話し合いを進めるのは難しかったので、チュートリアルをする前に他の専門職について理解が深められるような勉強の機会などがあればいいなと思った。あと、話し合いの時間が思ったより足りなかったのもう少し時間があるとよかったなと思った。

56 医学科で行われているチュートリアルにも学部連携を導入してほしいです。